

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第20回助成事業 審査講評

### まちづくり活動部門

#### 【2回目 応募グループ】

##### <2-1 千歳小おやじの会>

- ・毎年思うのですが、皆さんは地域の「気の優しい力持ち」のような存在ではないでしょうか。子どもたちは親父たちの背中を見て多くを学び、「思いやりと感謝の気持ち」は確かにバトンタッチされるのだと思います。皆さんの地域での活動が、すぐに役立つのと同時に、未来への希望の種を蒔いていることを痛感します。お母様たちも会員になられたとのこと、さらに力強く地域を支えてください。
- ・順調に活動が進んでいて好感が持てます。まだ二年目ですが、活動範囲、メンバー、資金繰りなど、どれをとっても着実に活動の輪を広げられていることはとても頼もしい限りです。世代交代や新規メンバーの獲得、OBによるサポートなど、確固とした運営体制づくりと、入って良かった！と思ってもらえるような雰囲気づくりを期待しています。
- ・おやじの会が地域を元気にするというのが、地域で大切な可能性を持っているということを感じさせる活動だと思います。学校でも、企業でも、趣味のクラブでも、何かの地域での共通の関係性をもつグループが、そのつながりをベースに、組織の枠を超えて地域が魅力的になるための役割を果たすことに、継続性のある地域の取り組みの意義があるのだと思います。今後の活動に期待しています。
- ・在校生以外のお父さんの参加に留まらず、お母さんの参加も可能にするなど、さらに活動が広がっている様子が実感できました。ぜひ、①資金的な独立、②人材の確保、③地域活動への持続的な貢献について、おやじの会によるまちづくりのモデルとなるように、持続可能な活動を進めてください。満額です。
- ・いつも印象に残るのが、何よりも「おやじ」のみなさんがとても楽しそうでステキなこと。実はとても重要だと思います。大人が楽しんでいる姿を見ることができる子どもたちやその家族たちに与える影響は大きいと思います。仕事と家庭との両立(?)は大変かと思いますが、応援しています。

- ・昨年度は懸案のテントを購入され、それが役立ったようで何よりです。また、メンバーの広がりや地域運営委員会への参加など、成果が目に見えていて素晴らしいと思います。今年度の活動にも期待しています。来年の成果発表ではお母さん会員も出てきてくれるといいですね。
- ・おやじの力が地域で起爆剤としての役割を發揮し、頼りにされつつあることが伝わってきました。主催イベント、また地域への協力イベントに大忙しのことと思います。お母さんまで仲間に歓迎する懐の深さ、広さをより一層まちづくりに役立ててください。
- ・おやじの会の活動にはいつも頭が下がります。できることを無理なく展開していることで長続きしていると思いました。満額助成おめでとうございます。

#### < 2-2 からすやま地域の力を集める会 >

- ・昨年のおおぞら WS の成果として自転車問題があがり、今年は自転車との共存をはかる烏山エチケットの確立を目指す、というシンプルなストーリーは、シンプルであるだけに説得力があります。ただ、昨年のおおぞら WS が意見を求めるものであったのに比して、今年は提言あるいはその実施に関わるものである分、難しいおおぞら WS になるのではないのでしょうか。ぜひ烏山エチケット、烏山ルールを実現してください。
- ・おおぞら WS を通じて地域のニーズを集め、そこから具体的な課題解決につなげていこうという活動は大変実践的であり、重要な活動と思います。ステップアップしていく上で、行政や事業者との関係づくり、助成卒業後の場の継続のしかた、具体的な課題解決に結びつかなかったニーズの扱いなどについては検討が必要かもしれません。
- ・昨年のおおぞら WS から、具体的な課題を特定し、更に前に進める活動を計画されており、今後の展開に大変期待をしています。また、烏山地域の様々なアクターが関連しているところも、地域づくりのモデルとなる可能性を感じます。
- ・昨年度のおおぞら WS による意見集約、駅前の自転車利用についての協議会の発足など、成果が実感できました。地域の防災や減災のためのユニバーサルなまちづくりに向けて、市民活動のベテランによる、さらなる成果を楽しみにしています。
- ・昨年実施された「おおぞら WS」を機に、自転車にフォーカスして前進されているのがとても素晴らしいと思いました。自転車と共存できる暮らし方をぜひ模索してみてください。またそのアイデアを多くの方と共有できる日を楽しみに待っています。
- ・昨年度の WS から自転車の協議会が立ち上がるという成果が出て、意義ある活動だと感じまし

た。発表を聞きながら、こういう WS をいろんな地域で、いろんな団体がやり始めるとどうい  
う社会になっていくのか想像してました。行政とリンクすることも大事だと思いますが、それ  
だけでなく、行政とは異なるレイヤーでソーシャルイベントとして展開していくのも面白そう  
ですね。

- ・これぞまちづくり！と毎回感じ入る大掛かりな取り組みです。ネットワークも動かす力もすご  
いです。今回は自転車がテーマで、それもわくわくするものでした。今後まちがどうなってい  
くのか本当に楽しみです。

#### < 2-3 NPO 法人 玉川にエコタウンをつくる会 >

- ・駅前緑化が、東急との協力の下実現したのは、素晴らしい成果だと思います。今年は高校  
跡地の利用がメインテーマになる印象を受けます。ぜひ丁寧に住民の皆さんの意向を汲み、ま  
たサイトのデザイン WS などへと繋げていただきたいです。言葉だけでは対立しているように  
見える意見も、図面の上では共存できたりします。ぜひ一度、活動現場を訪れさせてください。
- ・地域の人々による行政や事業者を巻き込んだ提案づくりは、自分たちのまちを考える上でとて  
も大切な活動だと思います。この提案づくりのプロセスが最も重要ですので、多くの人々に参加  
してもらうためにも、広場の植栽やウォーキングといった現場レベルの活動と合わせて進めて  
はいかがでしょうか。ぜひ丁寧に進めてほしいと思います。
- ・駅前広場の緑化、玉川高校跡地利用 WS と、課題に直面しながらも、着実に取り組みが進んで  
おられる様子が印象的でした。ひとつひとつ課題点を克服しながら、この取組の輪を広げてい  
ただくことを期待しています。
- ・駅前緑化や廃校跡地の WS、映画会やウォーキングマップづくりなど、地域住民と一体化した活  
動が拡がり、多くの成果が実感できました。廃校跡地の具体的なプランづくり等、WS のプロセ  
スを通して、専門家や地域住民とのコミュニケーションの輪を拡げ、持続可能な組織が育つこ  
とを期待しています。
- ・これから急激な人口減少を続ける日本。構造的に、廃校など公共施設が使われなくなっていく  
ことが予想されます。みなさんの活動は、市民の手によって、関わるステークホルダー（地域  
住民や行政、東急電鉄など）と関係性を築き課題解決をする事例（お手本）になると思います。  
障壁もあるかと思いますが、頑張ってください。
- ・交通広場の植栽、素晴らしい成果です。さらに進めていってもらえると幸いです。また、玉川  
高校跡地についても一步一步進めていただければと思っています。グリーンウォーキン  
グやグリーンマップも大事な活動だと思います。いろいろな取り組みを通じて、NPO の会員に

なってもらえるのは難しいかもしれませんが、賛同者の輪を広げていく何らかの仕組みがあると面白いのではないかと思います。

- ・グリーンウォーキング、グリーンマップなど新しい文化を生み出しているようです。再開発に伴い、環境に配慮したまちにするという切実な願いが伝わってきました。ぜひとも頑張って実現させていただきたいと思います。期待しています。
- ・地域や行政、関係者との地道な交渉により少しずつ可能性を広げ、実現に結びつけている活動に敬意を表します。他団体との連携や人的交流が活動の充実につながることを期待しています。

#### < 2-4 アロマ×セルフケア協会 Selfeel (セルフイール) >

- ・香りや健康と地域という、ちょっとつなげて考えるのが難しいアプローチだと今年も感じました。しかし、香りは頭の理解を超える訴求力を持つのもその通りだと思います。よりまち（寄り道？）カフェが、まちの空いている時間、場所にサッと立ち上がるのは、ふっと香りが立つようなイメージです。ぜひ実現してください。
- ・子育て中の人たちが落ち着ける場所の必要性は十分に理解できます。昨年度も集客などに大変な苦勞をされたようですが、やはり活動内容や活動場所などが安定していないと、参加する方も参加しにくいという面もあるかと思いますが。まずは地道に継続的に活動できるよう、腰を落ち着けて活動の安定に向けてがんばってほしいと思います。
- ・子育て支援の一環としてアロマセラピーに取り組むということの趣旨は分かるのですが、活動の広がりや参加者数の観点では、若干課題があるなという印象でした。活動のモデル化をすることができたら、次のステージではより多くの地域の方にかかわってもらう方策を是非検討してください。
- ・初めての子育てに悩むお母さんたちが元気になり、メンタル不調を予防するアロマセラピーが、どのように地域の課題やまちづくりとつながっていくのかが、見えませんでした。つながりを意識しながら・・・持続可能な活動に育ててください。
- ・メンタルの不調は社会の課題と言っても過言ではないと思います。今後も男性なども含めて老若男女が参加しやすい間口の作り方を意識してみたいかと思いますが、ただ間口を広げるとテーマ設定なども散漫になってしまうと思うので、メリハリをつけてみてください。例えば、アロマに絞るとか、子育てママに絞ってアロマとヨガにするなど。
- ・昨年度も書きましたが、活動の目的は明確ですが、手法が拡散しているように思います。メンタルのセルフケアについては幅が広いので、「〇〇については Selfeel はとても頼りになる」

という団体になることを期待しています。

- ・メンタル不調者がセルフケアを行う機会作りはとても大切だと思っています。人数が少なくても続けていることでよりどころになることがあると思います。広報の工夫などをして、一人でも多くの人に知っていただき、こんな場所が少しずつ増えていくことを願っています。
- ・地道に活動を続けてこられていることはよくわかりました。参加者を増やすことは難しいとは思いますが重要なことだと思うので、地域への発信を積極的にしていただけるとさらに活動が活性化すると思います。

#### < 2-5 街づくりの仲間たち >

- ・区の政策や計画を区民が学び、提案を行うのは、難しいけれども民主主義の大切な一面だと思います。昨年度の活動はよく理解いたしました。広く区民を巻き込む「場」の創造には至っていないのではないかと判断しました。ポスターセッションでお話が聞けなかったのも残念で、今回は助成の妥当性を判断できませんでした。
- ・世田谷区の基本構想づくりが進んでいる中、みなさんの活動は今こそ重要な局面を迎えているのではないのでしょうか。行政・法律用語は一般の方々にはなかなか理解しにくいので、知識のある皆さんがそれをかみ砕いて発信することはとても意義のあることと思います。助成終了後の場の継続も見据えて活動されることを期待しています。
- ・昨年申請時のコンセプトであった、街づくりのプレーヤーをお互いにつなぐプラットフォームとなるという切り口から、まちづくりの基本構想検討という切り口に重点がシフトしたということかと理解しました。今後、この検討プロセスに、街づくりの様々なプレーヤーが意見を述べていく場を創出することを通じた、つながりを生み出していただければと思います。
- ・街づくり条例改正への参画、交流の場の設定、情報の発信などの準備を経て、全体会や分科会、区民・行政職員・区議等が一同に会する場が立ち上がることを期待していたのですが、その成果は読みとれませんでした。開かれた活動の場を保障しながら、都市計画の策定に関わるという試みの、プロセス・デザインを明確にしましょう。
- ・まちづくりの横のつながりについては、必ず出るテーマです。やろうと思っても、なかなか連携ができないのが現状だと思います。毎年、みなさんからのプレゼンテーションを伺っていても、一緒にやると良いことありそうだな、と思う団体があります。ぜひ、つなぎ役となって相乗効果が生まれることを期待しています。また、ゆくゆくはまちづくりに関心のない方にもアプローチが出来ると良いかもしれないですね。(今年度ということではなく)

- ・書かれているように、今年度・来年度は、世田谷区の基本構想・基本計画、都市整備方針が改定されるので、ここが会の存在意義の見せ所ではないかと思います。最近、全国的に計画づくりへの参加について行政は引き気味だと思います。これは都市計画マスタープランなどの参加への評価が低いことが要因だと思いますが、なぜ低いのかという問題・課題の抽出から、今回の参加の方法等への提案をしていってはどうでしょうか。期待しています。
- ・まちづくり仲間がまちの中で顕在化し、よりメジャーになるのは本当に喜ばしいことと思います。そこに暮らす市民がまちづくりを真剣に考える必要はいつも感じています。市民ならでは基本構想、基本計画、都市整備方針を楽しみにしています。
- ・街づくりの仕組みや制度に正面から取り組まれている硬派？な活動はとても重要だと思います。元来難しいことを簡単に説明せよ、という風潮は行き過ぎると良くないと思っています。でも、時々世田谷の街づくりの「重要な論点」について、ポイントを整理して平易な言葉で発信していただくと、街づくりに興味を持つ人が増えるのではないかと思います。

#### < 2-6 働きたいママの応援Café >

- ・活動の趣旨には昨年同様共感を覚えます。ただ昨年の具体的な活動成果が、私にはよくわかりませんでした。「子連れで働く新アイデア」や「地域につくる子育てママの仕事創出」など今年の具体的な活動イメージも同様に、よく理解できなかつたです。来年の報告では、なるほどそうだったのか！という活動成果を教えてくださいたいと思います。
- ・みなさんの活動に対する想いや意義は十分に感じました。新しい働き方の実現のためにさまざまな試行錯誤をされているようですが、その中から何が生まれどう広がっていくのか不安でもあり楽しみでもあります。助成期間が限られているので、成功例までとは言わないまでも、少しでも実践的なプロジェクトが生まれることを期待しています！
- ・働きたいママの応援をする取り組みは今の世田谷においてとても重要な取り組みだと思います。他方で、目的である「子育てをしながら仕事もするスタイルの確立」という点については、このCaféでの仕事のみならず、企業などとのネットワークを活かしたマッチングという側面も重視しているというのが昨年申請時のご説明でした。決して容易ではないと思いますが、そこが進むことが一つのブレイクスルーだと思いますので、頑張ってください。
- ・子育てと仕事の両立に向けて、少しずつですが成果が見えてきました。あと2年間の段階的な目標を持って、まちづくりにつながるソーシャルビジネスとして発展していくことを願っています。
- ・新しい働き方が生まれる予感がしています。今年はぜひとも子育てママの仕事が一つでも創出

されることを期待しています。少子化が叫ばれて久しい日本ですが、こういった動きが定着することで少しでも社会課題の解決につながるように思いました。

- 活動の趣旨は意義あると思いますが、お話を聞いていてよくわからなかったのが、働くママのビジネスモデルとかライフデザインの具体例が見えなかったからなのかなと思いました。そのようなことは個々のママが考えるべきというスタンスかもしれませんが、既に子連れで働いているママのお話を聞く会などがあれば、悩んでいるママたちのイメージ固めに役立つのではないのでしょうか。考えていただければ幸いです。
- 難しいテーマに挑戦されているな、と思っています。働きたいママの応援と、演劇のまち下北沢のつながりが見えにくかったのが残念でした。活動内容も地域イベント等参加とありましたが、どのようなイベントに参加し、それがこの取り組みにどのように生かされ、まちづくりに広がっていくのか、もう少し具体的に伝えてほしかったです。成果に期待しています。
- 活動の趣旨は十分に理解できました。3年目の活動とその後の継続性にむけて、さらに利用者を増やしていくことを期待しています。